

『放射性セシウム汚染と子どもの被ばく』を読んで

○体内被ばくをしてしまうとたいへんだということがわかった。

セシウムに汚染された地域に居住すると外部被曝もしてしまうし、内部被ばくもしてしまって大変だということがわかった。いろいろな臓器に蓄積してしまうことがわかった。

○「セシウムは体内では筋肉などに蓄積するだけで心配ありません」と言われても、実際にそのできごとに立ち会った人々は不安でしょうがない…と思った。（心配ありませんと言う人は）証拠や根拠など納得のいくようなものを添えて説明してほしいと思った。

○福島原発事故で不安な人はたくさんいると思います。その不安な気持ちを安心させようと、放射線の専門家たちは「セシウムは体内では筋肉などに蓄積するだけで心配ありません」というコメントを盛んに発していますが、その発言が嘘なら（国民の）信頼をなくすと思います。なってしまった（起きてしまった）のだから、しょうがないと思うので、被曝を防げるような対策を考えた方がよいと思います。

○最近、色んな物からセシウムが検出されていて、セシウムって何なのか分からなかったけど、これを読んで、セシウムが健康に及ぼす影響って大きくて、こわいなと思いました。

○自分がどれだけ恵まれた環境にいるかよくわかった。これからは自分ができることをしていきたいと思う。そのため、色々なことを知って、勉強していこうと、そう思いました。世界が平和になれる日がいつか来ることを願っています。

○大人に比べて、子供の方が臓器にセシウムが入っていることを初めて知った。（特に甲状腺に多いことを知った）それによってガンや障害が出てしまうので、少しでも食べ物などに気をつけ、セシウムが体に入らないように防がなくてははいけないと思いました。

○本当に許せませんね。こういうことが無くなればいいと思います。自分はすごく恵まれているんだと改めて思いました。皆が幸せになれる世界になってほしいです。

○テレビなどでは、人々を安心させるようなことを言っているだけで、本当は福島にいても、食べ物を食べることも危険なんだと思って不安になった。食べるものによってセシウムの体内蓄積量が変わると知って驚いた。なぜキノコがセシウムを集めやすいのか不思議に思った。

○私は科学者じゃないし、よくわからないから、この話を読んでもあまり理解できないが、日本で大変なことが起こっているのだけはわかる。でも、地震はだれかがわざとやった、とか そういうものじゃないし、どこにくるのかもわかんない。今回の地震はたまたま東北の方でたまたま福島原発で事故が起きた。ギャーギャー騒いだってしょうがない。おきてしまったものは仕方ないんだから、その後の対処方法を考えるべきなのではないのかなと思う。

○私は、放射能とか詳しくはよくわからないけれど、読んでみて、被ばくしても健康被害が表面に出てくるのに時間がかかること、子供の放射線に対する感受性が大人の3倍から10倍にもなることを知りました。放射能は見えない物なので、存在を知らなければ、ないことと同じになってしまいます。まず知ることが大切だと思いました。

○私は、これを読んだところであまり意味がわかりませんでした。たしかにニュースで放射能のこと騒いでいるのは知っている。被ばくのことも知っている。でも本当しくみとかよくわからないけど、わかるのは“ひどい”ということだけ。同じ国の人なのに理解していない自分が憎い。これからも問題視して考えていきたいです。

○児童、生徒の屋外での活動を制限するのは、仕方がないことだとは思いますが、かわいそうだと思います。セシウムは、ナトリウムやカリウムと同じアルカリ金属に属し、水によく溶ける元素であるから、水で除染できるのかな？と思いました。

○私は、世間が放射線に対して過敏になりすぎていると思います。たしかにニュース等で報道されている内容や崎山さんの記事を見る限り、セシウムは大変人体に悪いものだと考えられます。しかし、そういった内容だけで熱くなりすぎる人や放射線自体を危険視する人は、もっと放射線について、調べるべきだと思います。何が正しく何が嘘なのか、その点もすごく曖昧です。私は、被ばくは仕方がないことだと思います。

○自分がとても恵まれていると思いました。世間が放射能に対して過敏になっていると思います。世界では色々なことがあることがわかりました。

○まず読んで驚いたのは、大人と子供の汚染度の違いです。放射線の蓄積は2～3倍、感受性は3～10倍にもなるのは、未熟な臓器などの方が放射線が蓄積されやすいためなのだろうかと思いました。また、臓器別での量の違いでは、甲状腺が断然トップであることがわかりました。心臓や脳への影響は甲状腺に比べて約1/5倍でした。そして体内に蓄積される量は、食品の種類によって異なるということに驚きました。

セシウム蓄積に関与する食品はミルク・キノコ・肉の3種で、その他の食品と比べると、3種全ての場合、3.2倍になり、キノコまたはミルクを食すると2倍強、肉の場合は3倍近くになるそうです。このデータから動物性食品の方がセシウム量が多いことがわかりました。私は、植物性食品の方が雨などに影響され、セシウム量が多いと思っていましたが、それを食したことによって、動物の体内でなんらかの影響を与え、より高濃度のものとなるのではないかと思いました。

コラムの方では放射物質を手にした人々が被害を受けたという内容でした。これは外部から影響を受けたというもので、「福島から来たから」という理由で軽蔑していたのも一理あるのではないかと思いました。ただ、それは強い放射線の場合なのか、低いものでも影響するのか、定かではないが少なからず非道とも思える意見でも正しかったと思わざるおえない内容でした。

最後に、読み終えてから思ったのは放射線の知識がゼロに等しかったこと、そして情報の中で正しいものと間違っているものを見極めができていないという事に気づきました。また、「組織間の浮腫」とはどういうものか疑問に思いました。

○大人と子供の臓器別セシウム 137 蓄積量比較のグラフを見て明らかに子供の方の蓄積量が大人に比べて多いということに驚いた。特に甲状腺と心筋においては、大人の約3倍ほどになることを知って、子供が被曝することの恐ろしさを感じた。子供を守るためにも危険なセシウムから子供を遠ざける必要があると思ったし、よくテレビで言っているような『微量だから大丈夫』ということはないんじゃないかと思った。

○政府が言っていたことがおかしいように思われました。ニュースでも頻繁に原発や放射能のことを取り上げているにも関わらず、人体への影響や対策がザルのように思います。大事なところが一番できていないようです。過去にチェルノブイリの事故があつて学んだはずなのに、全然生かされていないです。情報の方もそうです。確かに私たちは放射性セシウムのことや人体に及ぶ影響がわからないかも知れません。だからこそ、どのように危険なのか対策は本当に万全であるのか 納得できるような話をしてもらいたいものです。読んでみて、セシウムが一番たまりやすい部位は甲状腺ということがわかりました。そして、食べ物には肉→キノコ→ミルク→野菜の順に蓄積しやすいことも新たな発見です。

○この『放射性セシウム汚染と子どもの被ばく』を読んで私は、放射線の専門家は、野菜などがセシウムで汚染されたというニュースが流れたとき、『セシウムは体内では筋肉などに蓄積するだけなので心配ありません。』と言っていたのに、本当は単に筋肉にとどまっているのではなく、甲状腺、心臓、副腎、膵臓、胸腺、脾臓など内分泌腺や免疫を担う臓器にも蓄積すると書かれているのに、なぜ、筋肉に蓄積するだけと言ったのだろう。子どもは、放射能に対する感受性が大人の3倍～10倍にもなることにびっくりしました。小学校などの年齢の子供は、たくさん外で遊びたいはずなのに、屋内に閉じ込めておくのはかわいそうだと思います。

○専門家は、なぜうそをつくのだろう。「筋肉にしか蓄積しないから安心。」というが、実験や色々なデータから安心でないことは歴然である。専門家が正しい情報を提供してくれないのなら、知識のない国民はどう判断すればいいのか解らない。一国民として、事実を知りたい。それに、これから未来がある子供達の方が大人の何倍以上も放射線を受けやすいと知った。自分も気をつけたいと思った。

○放射線に対する感受性が大人の3倍から10倍にも子どもはなるというところを見て、いかに放射線の影響が子供に対して大きいのかわかった。また、内部被曝は筋肉にとどまっているだけだから、そこまで心配することはない。と思っていたけど、それは違って数多くの臓器に蓄積していくことを知って、怖くなってきた。

○放射線は本当に怖いんだなあと思った。特にたくさんの放射線を浴びたりしている魚や、たくさんの放射線が入り込んだ土で育てられた野菜をこの先、何年も何十年も食べていかなければならないと思うとゾッとしました。また、20～30年したら、体に変化が出てくるみたいなので、ちょうど私たちが看護師をしているころなので、放射線を浴びた患者さんの看護をするのかなと少し不安に思った。

○セシウムがこんなに恐ろしいものだと思えてわかりました。目に見えないので意識して気をつけたい。小さな子どもは、今から成長するのに被ばくするのは、かわいそうだと思います。

○私たちはニュースなどで放射線の影響を知ったり、情報を取り入れたりしています。そのニュースで正確で安全な情報を流してもらわなければ原発に近い人たちはもちろん、私たちも安心して暮らせないと思う。柏市は放射線量が高いと言われているが、こんな遠くまでくるまえにもう少し予防策はなかったのかと思う。

○一刻もはやく、子どもたちや妊婦を避難させて欲しいと思いました。何年か先になって彼らが苦しんでいくことが目に見えるのに、見殺しにできるのか。悲しくなりました。

○被ばくを防ぐために、児童や生徒たちを屋内に閉じ込めておくのはおかしいと思います。それではその人たちの人権がないような気がします。それだけでなく、放射線を浴びた食物を食べてしまったりすることでの内部被ばくはもっと怖いなと思いました。あと、専門家か政府が正しい情報と処置をして欲しいし、被ばくされた方々の心のケアも課題なのかと思いました。

○原発の影響で様々な汚染物質が出る。その中でセシウムは色々な物質に属していて、水に溶けやすいので、人間の身体に入り込みやすいというので、心配はないというが不安になった。そしてやはり健康に影響を及ぼすので、自分が知らないうちに勝手に汚染し。突然死するかもしれないので怖いです。

○私はこの文章を読んで放射線の汚染の経路がたくさんあることが怖いなあと思いました。それに、放射性物質がセシウム以外にも他にあることを知り、家畜などが汚染されてしまったところの酪農家は大変だなあと思いました。子どもの汚染量も食べ物によって何倍にもなったり、心筋、甲状腺へのセシウム蓄積量が大人の3倍、他の臓器はおよそ2倍ということに驚きました。

○チェルノブイリ事故から17年も時間が経っているのに、健康に及ぼす影響が残っているのは驚きだった。これからの日本も、長い間この状態が続くのかなと思った。そう思うと怖いと思った。

○子供は放射線の蓄積量が2～3倍にもなるということを知り驚きました。これでは福島の子供たちは絶対に病気になる確率が高くなってしまわないかと思いました。なのに、政府は早々に子供たちを避難させないのでしょうか疑問に思います。チェルノブイリ事故で汚染された地域に住んでいると放射線被曝量が高くなると知っているはずなのにおかしいと思います。このままだと、子供たちが少しずつホルモンの障害や免疫障害になってしまうのでは……、と不安です。しかも心臓にセシウムが貯まりやすいなんて初めて知りました。そして突然死と関係があるかもしれないと書かれてあり、一体どうなっているのだろうと思いました。

○この話では主に海外の放射性セシウムに関することを書いているが、今の日本も他人事ではないんだと思うと、少し不安になった。食べ物1つ1つに注意しなければならない。

○子どもに対する被害が大きいということは知っていましたが、大人の3倍から10倍にもなるということを知って驚きました。まだ公に公開されていないことが多いと思うので、こういった被害が二度と起こらないように正確な情報が世間に知れ渡ればよいと思いました。

○子どもは大人より体が弱く、被ばくもしやすい。また子どもの他も妊婦にも悪影響がある。政府は、このような場所からの避難警告を迅速にすべきである。また、福島などでも危険区域の自分の家に残るといった人がいて、説得を続けていたニュースを見たが、それをもっと政府が手をうてばよかったのだと思う。食べ物の中に含まれるセシウムなどの危険物をもっと、しっかりと測定して頻繁に公表していかないと、日本国民はずっと不安なままだと思う。

○文部科学省は国民の何を願っているのかと思った。（国民の）健康を第一に考えているのなら、もちろんお金が必要だと思うが、まずは国民の健康を考えるべきであると思う。政府は安心させるために国民に言っている事かもしれないが、そのことが逆に国民を死へと追いやっているのではないかと思う。例えば「セシウムは体内では筋肉などに蓄積するだけ、心配ない。」という言葉。

セシウムが蓄積しやすい食品には、肉、キノコ、ミルク、野菜などがあり、これは誰もが飲食するものである。これらを食することで筋肉だけでなく、約1週間で全身に分布することに驚いた。セシウムは甲状腺に蓄積しやすい事が分かった。子どもは2倍3倍、大人より蓄積量が多く（その量に対して）子どもはとても大きな被害にあっていることを初めて知ることができた。チェルノブイリより汚染度が高いことに驚いた。

○私はこれを読んで、改めて放射性セシウムの恐ろしさを知りました。一番驚いたのが、子供の放射線の蓄積量は2～3倍になるという事です。今は特に問題はないと思われていても、大人になってからたくさんの方が発病すると思いました。そう考えると、政府が腹立たしいです。これからの未来を担う子供たちを何故早々に避難させないのか理解できません。チェルノブイリ事故で土地が汚染されたのに住み続けるなんておかしいと思います。福島も同じです。これでは放射線被曝量が高くなり、体に重大な障害が起きてしまうと思いました。さらに驚いたのがセシウムは心臓に貯まりやすいということです。このことは初めて知り衝撃を受けました。心臓は人間にとって一番大切な臓器なのにそこに貯まるなんてとてもショックでした。また、突然死とも関係があるかもしれないというのが、とても怖いです。政府は責任を持って発言・行動をしてほしいと思います。

国民に嘘をつかないで欲しい。

○福島に住む妊婦・乳幼児・児童は避難しなければならない状況にある。そんな状況が日本にあるが、私はただ見ていることしかできない。外に出れなくて、体力の低下や、日光に当たらないことで人体への影響が大きくなってしまふ。ただでさえ、地震の後で心も傷ついているのに、セシウムの問題まで抱えて大変だから、他人の事のように思わないで、その人たちの身になって考えていきたい。

○テレビで放映している情報と今読んだコラムには大きな差があるように思った。一度チェルノブイリで同じようなことが起こり、健康被害も報告されているのにもかかわらず、チェルノブイリより大きな被害を受けた日本の国民が真実を知らされていないということにとっても疑問が生じました。地元を大切にしたり、家畜を大切にしたい気持ちはわかるけれど、自分の体を1番に考えて、60km圏内に住む人々は県外へ避難することが大切だと思った。そのためには国が本当のことを国民に伝えることが必要だと思った。

農作物は私たちの口から入りやすいものなので、日本中の国民が被曝しないためにも規制を厳しくしたほうがいいと思った。

○放射性セシウムの恐さを知りました。子供の放射線の蓄積量は2～3倍になることに驚きました。今は問題なくても大人になったら発病すると思うと政府が腹立たしいです。

チェルノブイリ事故で今でも汚染されている土地に大人、子供が住んでいるのが考えられません。セシウムは心臓に貯まっていくのには衝撃を受けました。人間にとって一番大切な臓器なのに……と、ショックでした。政府は行動をもっともって欲しいです。

○放射性セシウムとか被曝とか、今回の地震がなければ、あまり興味をもっていませんでした。でも、今回このようなことがあってたくさんのニュースとかになってすごく興味を持ちました。すごく難しい話で、理解したりするのもすごく大変で、今の日本の状態がすごくわかりました。

○放射性セシウムの問題はとても大変だと思いました。外からあびる事だけでなく、汚染された野菜やお肉を食べて内側からの汚染もあると知り、驚きました。被ばくは怖いことだけど、ずっと屋内にいれば安全だから外に出ないようにする。という考えはよくないと思います。たとえお金がかかっても、外に出る事を優先するべきだと思いました。

子どもが被ばくの影響を大人より受けやすいのを初めて知りました。国が決めたことでも、放射能が周りがあったら不安になるし、危険なので、早く避難させてあげた方がいいと思いました。